

2025 年度 委員会事業計画書

委員会	まちの産業イノベーション委員会			
委員長	松本 大助	副委員長	奥田 貢大	
基本方針	<p>瀬戸は人口減少や高齢化の進行、及び代表産業である瀬戸焼の衰退など厳しい現実に直面している。この状況下、瀬戸が更なる発展を遂げるためには、産業イノベーションにより多くの人々が集まる誘因を生み出す必要がある。加えて、将来に渡って環境変化に適応し、継続的にイノベーションを重ねていくことが、持続的な発展に向けて必要不可欠である。</p> <p>一方で、瀬戸焼は我々のアイデンティティであり、今後も瀬戸の中核を担うべき存在である。そこで、当委員会は産業イノベーションによる新たな瀬戸・産業のかたちを「瀬戸 2.0」と銘打ち、瀬戸焼を軸とする実現を目指す。瀬戸焼の理解深化を活動の出発点とし、新たな産業を探究・その可能性を現在／未来を担う人々へ発信することが我々の使命である。また、瀬戸 JC 賞として輝かしい活動を展開する個人や企業を発信・産業イノベーションへの架け橋となる役割を担う。</p> <p>「瀬戸 2.0」の実現を先導するのは瀬戸青年会議所であるが、我々だけで成し得るものではなく、地域の方々と共に取り組むべき課題である。そこで、我々の強い想いを地域の方々へ示し、共感を得ることで多くの方を巻き込み、協業で活動を推進することを行動指針とする。</p> <p>「瀬戸 2.0」の旗印のもと、我々の英知と情熱を集結させ、困難な課題にも真正面から対峙し解決への道を切り拓き続けることで、必ずや瀬戸の更なる発展を実現し、瀬戸のまちを Positive Change する。</p>			
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 瀬戸焼の理解深化・未知領域探求に関する事業（6月例会） 2. 「瀬戸 2.0」の未来宣言に関する事業（10月例会） 3. 第 69 回瀬戸 JC 賞に関する事業 			
予算	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
	1 委員会事業費	520,000	1 瀬戸焼の理解深化・未知領域探求に関する事業	350,000
			2 「瀬戸 2.0」の未来宣言に関する事業	150,000
			3 第 69 回瀬戸 JC 賞に関する事業	20,000
	計	520,000	計	520,000

2025 年度 委員会事業計画書

委員会	会員拡大委員会			
委員長	江川 正司	副委員長	小崎 晃	
基本方針	<p>瀬戸青年会議所は青年経済人が集まり、青年に成長の機会を提供し、「明るい豊かな社会」の実現に本気で取り組む組織である。瀬戸市において必要な組織である一方、会員数の減少により事業の幅が制限されている。会員数が増えれば活動が楽しくなり、さらに活性化するだけではなく、多様なバックグラウンドを持つ人々との交流を通じて、さらなる成長の機会が生れる。そのためには会員数を増やすことが必要である。また、JC について理解し、青年会議所の活動をより充実させる必要がある。</p> <p>そのために会員拡大委員会では、まず、全員で幅広くアンテナを張り、入会候補者のリストアップを行う。さらに、候補者と積極的に接点を作り、瀬戸青年会議所の取り組みや魅力を伝え、共感を得ることで会員拡大を図る。さらに、会員が青年会議所の理念・存在価値を学ぶ機会を提供して魅力を感じられるようにする。</p> <p>これによって、会員拡大委員会では会員を拡大し、活動をより充実したものにしていくことで、瀬戸青年会議所をより活気ある団体に Positive Change する。</p>			
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員資質向上事業（2月） 2. 拡大推進事業（5月） 3. 入会希望者ガイダンス 4. 拡大対象者の調査・リストの作成 5. 拡大のための印刷物作成 			
予算	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
	1 委員会事業費	100,000	1 会員資質向上事業 2 拡大推進事業 5 拡大のための印刷物作成	20,000 60,000 20,000
	計	100,000	計	100,000

2025 年度 委員会事業計画書

委員会	総務委員会			
委員長	加納 康平	副委員長		
基本方針	<p>瀬戸青年会議所は、先輩諸兄姉の強い信念と意志のもと、70 年以上の歴史をもつ組織である。しかし、生活様式の変化により、会員を取り巻く環境も変化しており、青年会議所の活動も変化に適応しながら、継続する必要がある。</p> <p>そのために、総務委員会では、青年会議所活動の根幹と言える総会・例会において会員の出席率が向上できるよう既存の運営方法の見直しを検討する。そして青年会議所の屋台骨として、規律ある総会・例会の設営・運営を行う。</p> <p>これによって、総務委員会では、他の委員会の Positive Change を下支えすることで、安定的な組織を築き上げ、次の世代へ襷を繋ぎ、瀬戸青年会議所を Positive Change する。</p>			
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会・例会の設営及び例会の運営 2. 新年を祝う会(1月例会) 3. 直前理事長感謝状贈呈(1月) 4. 出向者紹介(1月) 5. 新入会員認承証伝達式 6. 次年度理事長激励の集い(8月) 7. 卒業生を送る会(12月) 8. 卒業生を送る集い(12月) 9. 広聴広報活動並びに PR に関する業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) ホームページと SNS の更新と運用(通年) (2) JC ニュースの編集・発行 (3) 活動の記録保存整理 (4) 報道機関との窓口業務 10. 献血活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「第 64 回せと陶祖まつり」における献血活動 (2) 「第 94 回せともの祭」における献血活動 11. 褒章・表彰及び慶弔に関する業務 12. 定款の研究及び周知 13. 奉仕箱の管理に関する業務 			
予算	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
	1. 委員会事業費	41,000	3. 直前理事長感謝状贈呈	5,500
			5. 新入会員認承証伝達式	500
		7. 卒業生を送る会	5,000	
		10. 褒章・表彰及び慶弔に関する業務	30,000	
	計	41,000	計	41,000

2025 年度 委員会事業計画書

委員会	事務局			
事務局 長	加納 康平	事務局次 長		
基本 方針	<p>瀬戸青年会議所が 70 年以上、連綿と受け継がれてきたのは、会員自らによる厳格な会議運営があったからである。しかし、生活様式の変化によって会員を取り巻く環境も大きく変化しており、変化する中で、瀬戸青年会議所も効率の良い活動を展開していく必要がある。このような中で、事務局が既存の運営方法を見直し、会員が活動に専念しやすい環境を整える必要がある。</p> <p>そのために事務局では、電子媒体を活用した文書や会議の管理を強化、既存の運営方法の見直しを検討することで、事務局運営の見える化とスリム化を進めていく。そして、これにより手落ちのない連絡及び調整を実施することで、各委員会の円滑な議案作成をサポートし、期限厳守で正確な会議資料作成と配信を行っていく。さらに事務局運営の軸となる理事会等の各種会議においても、ハイブリッド型会議をはじめ会員が出席しやすい開催方法を模索する。</p> <p>これによって、事務局では効率的な運営を展開し、会員が活動に専念しやすい環境を整えることで、瀬戸青年会議所を Positive Change する。</p>			
事業 計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事会の設営 2. 正副理事長会議の設営 3. 事業計画書並びに予算書、事業報告書並びに決算書、会員名簿の作成 4. 諸規程の研究及び周知 5. 事務局備品の管理 6. 文書・データの保存・管理 7. 尾張東 6JC 間の連絡・調整 8. 出席率の向上と出席表の作成 9. 各種会議に関する業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) 京都会議(1月23日～1月26日) (2) 名古屋会議(2月8日) (3) 第58回愛知ブロック大会(小牧)(9月6日) (4) 第73回全国大会(佐賀)(10月9日～10月12日) 10. 各種会議に関する窓口業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) JCI ASPAC(都市名)(6月12日～6月15日) (2) サマーコンファレンス(横浜)(7月19日～7月20日) (3) 東海コンファレンス(半田)(8月23日) (4) JCI 世界会議(チュニス)(11月2日～11月9日) 11. 姉妹 JC に関する業務 			
予 算	収入の部		支出の部	
	科 目	金 額	科 目	金 額
	1. 委員会事業費	50,000	3. 事業計画書並びに 予算書、事業報告 書並びに決算書、 会員名簿の作成	50,000
	計	50,000	計	50,000